

市議会定例会が終わって間もない7月上旬、名古屋市中で開かれた第24回東海西之表会総会に参加しました。東海地域に暮らしている出郷者の会ですが、西之表出身で今年5月、関東鹿児島県人会連合会の会長に就任した竹之内康一さんから関東、関西からも出席があり、大いに賑わいました。名古屋場所への出場を直前にした現和出身の大相撲力士、島津海も元気な姿を見せてくれました。

故郷を離れている皆さんは、種子島や島で生活している親類、知人に対して熱い思いを持ち続け、物心両面での支援も少なくありません。そうしたもろにに対して御礼の挨拶をする機会をいただいた私は、市営グラウンドの改修が進んで管理棟が完成し、これからトラックやフィールドの工事に入ること、また、鹿児島医療技術専門学校種子島サテライト教室が開校したことも報告しました。

島からはほかに、市議会の河本幸男副議長、地域支援課、経済観光課の職員も出席し、島の近況報告やふるさと納税のPR、創立150周年を迎える榕城小学校の募金活動の紹介などがありました。また、今年の「種子島ふるさと交流大会」は、種子島鉄砲まつりの開かれる8月23日に併せて計画していることを伝えました。

総会・懇親会会場のテーブルは、校区を中心とする地域、同級生などのグループができ、種子島弁一色で会話がはずんでいました。

終盤近く、役員の皆さんが舞台上に勢揃いして恒例のダンスタイム。「星降る街角」「恋をするなら」「YOUNG MAN」の3曲を連続して踊ると盛り上がりは最高潮に。最後は出席者全員で「種子島力モネ音頭」を踊って、熱気の中で締めくくられました。島を大切に思う方々との交流は、今後も続けていきます。



▲閉会前、役員の皆さんのダンス